

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
32111	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	2
32113	愛ランド里島構想推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	4
32113	里島地域おこし推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	6
32113	姫ヶ浜荘整備事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	8
32113	姫ヶ浜荘等管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	10
32114	風早レトロタウン構想促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	12
32141	移住定住促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	14
32214	三津浜地区活性化推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	16
61111	地域におけるまちづくり推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	18
61111	地域協働活動応援事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	20
61111	地域おこし活動促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	22
61112	コミュニティ活動振興事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	24
61121	NPOサポートセンター運営管理事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	26
61121	市民活動推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	28
69999	表彰制度実施事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートA	30

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996				
	部等長名	家申 正治	課等長名	田中 健太郎	リーダー名	主幹	渡部 寿	担当者名	副主幹	矢野 幸平	主任	水口 結貴
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リーダー名	副主幹	矢野 幸平	担当者名	副主幹	森 晋也	主任	水口 結貴

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32111	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	221	個別プログラム	笑顔を育むプログラム		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト		
施策	選ばれた都市づくり					市長公約	531	主な取り組み	地域資源の利活用と知る機会の充実		
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり							自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります			
取り組みの柱	地域資源の発掘や利活用などに主体的に取り組む市民活動を支援し、地域資源の見える化を進めるとともに、市民参加型イベントを市内各地で実施することで、まち全体の回遊性を高め、『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想をさらに推進します。					風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。					
総合戦略	4611	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	①『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づき、住民が主体となって、地域固有の資源や魅力を生かした特色あるまちづくりを進めます。また、小説ゆかりの史跡など、各地域の魅力ある資源に触れるウォーキングイベントなどにより、まちの回遊性を高め、市民に郷土の歴史や文化を再認識してもらうことで、地域への愛着とまちづくりに対する機運を醸成します。				
		政策	⑥誰もが活躍できるふるさとづくりの推進								
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)			1:有り					
根拠法令,条例,個別計画等	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本構想、『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本計画書										
事業の目的(どのような状態にするか)	小説『坂の上の雲』の3人の主人公が抱いた高い志とひたむきな努力、夢や希望をまちづくりの基本理念に取り入れて、既存の地域資源を最大限活用し、主人公たちのように夢や希望を持ちながら、官民一体となって「物語」が感じられるまちを目指すもの。										
背景(どのような経緯で開始したか)	市民とともに物語の随所に描かれる松山の特性を再認識しつつ、将来のしっかりとした都市像を描き、その実現に邁進する姿を発信できれば、観光分野はもとより、まちづくりが大いに進展すると考え、市長公約に基づき開始。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	『坂の上の雲』のまちづくりに対する市民への周知や、まちづくりへの参加意識の醸成を図るとともに、地域資源を活かした市民活動の支援等を通じて、市民主体のまちづくりを推進する。 ○市民啓発事業 1. 『坂の上の雲』ふるさとウォーク 2. まちづくりマップ印刷 3. サイクルロゲイニング大会 4. 挑め! FMM (『坂の上の雲』フィールドミュージアムマスター) 5. 『坂の上の雲』のまちを巡ろう360度市民リレー動画 ○市民活動支援事業 1. 『坂の上の雲』フィールドミュージアム活動支援事業 2. 地域の宝みがきサポート事業										
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等		「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	11	～	令和	4	終期の種別	2:事業の総続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	R3 予算措置時期			当初
									R2年度	R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						13,851		11,650				10,462
決算額(B)(単位:千円)						12,468		11,207				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0				0
			県支出金			3,590		1,043				0
			市債			0		0				0
			その他			0		0		10		0
			一般財源			8,878		10,154				10,462
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算												
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			1,383		443				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・『坂の上の雲』ふるさとウォーク ・サイクルロゲイニング大会 ・地域の宝みがきサポート事業											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下 ↑:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			活動指標として掲げたフィールドミュージアムマップを地域との連携したイベント等で積極的に配布し、目標を達成できた。また、成果指標に掲げた新規の活動団体は、事業の着実な実施により、新規団体が増加し一定の成果を得ることができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			本事業の実施により、フィールドミュージアム構想の実現に寄与している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、新たなイベントの実施や市民活動のあり方を検討し事業目的を達成する必要がある。 『坂の上の雲』のまちづくりに関して、若い世代の認知度が低い。 地域振興構想や文化財課所管の文化財保存活用地域計画の策定に向けて、久谷地区の地域資源を活用した産官学等が一体となった取り組みが求められている。											
R4年度の目標	『坂の上の雲』のまちづくりに対する市民への周知や、まちづくりへの参加意識の醸成を図るとともに、地域資源を活かした地域活動の支援等を通じて、市民主体のまちづくりを推進する。特に、若い世代への多様な啓発事業を実施し、若者のシビックプライド醸成を図る。											
	環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策											
	R4年度の主な取り組み内容(予定含む)											
	・民間企業とも協力して新しいイベントの協議をすすめる。危機的状況の中での施策推進について検討を進める。 ・若い世代のシビックプライドを醸成するために、学校とも連携を図る。 ・久谷地区の地域資源について、広く周知を図るとともに、地元大学をはじめ、地元住民や関係団体と連携し、その活用を図り、地域の活性化につなげる。 ・『坂の上の雲』ふるさとウォーク ・サイクルロゲイニング大会 ・地域の宝みがきサポート事業 ・若い世代への多様な啓発事業(①挑め! FMM・②『坂の上の雲』のまちを巡ろう! 360度動画リレー) ・フィールドミュージアムアカデミー 久谷カレッジ運営事業											

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①フィールドミュージアムサポート委員会の開催回数	回	目標値	5	5				目標値	5	
			実績値	6	5				達成年度	R2年度	
		%	達成度	120	100						
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)								
		本指標の設定理由	地域資源を活かした市民活動への支援方法を検討するサポート委員会の活動を示す指標			最終目標値の設定の考え方	これまでの実績のに基づき、まちづくりの専門的な知識を有したサポート委員が、地域資源を活かした市民活動の支援策などを検討するために必要な会議開催回数を設定した。R2年度で本委員会は、他事業(市民活動推進事業)へ統合した。				
	②地域と連携して実施するイベント開催回数	件	目標値	2	2					目標値	2
			実績値	2	2				達成年度	R2年度	
		%	達成度	100	100						
		指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標								
		本指標の設定理由	開催地域の住民や団体と連携しながら『坂の上の雲』のまちづくりイベントを実施し、官民一体となってまちづくりを進めていくため。			最終目標値の設定の考え方	開催地域の住民や団体と連携しながらイベントを開催することを通して、地域と一体となったまちづくりを進めていくために目標値を設定していたが、多くの方に『坂の上の雲』のまちづくりや地域資源の認知度向上を図る指標とするため、R3年度から以下指標に変更する。				
	③フィールドミュージアムマップ配布数	冊	目標値	500	500	500	500	500	500	目標値	500
			実績値	1,730	533	2,277				達成年度	R4年度
%		達成度	346	107	455						
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	『坂の上の雲』のまちづくりや地域資源の認知度向上を図る指標			最終目標値の設定の考え方	毎年イベント等で市民に対し500冊配布することを目標とする。					
成果指標 (3つまで設定可)	地域資源を活かした市民活動を実施した新規団体数	件	目標値	46	48	50	52		目標値	52	
			実績値	46	48	52			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	100	104					
		指標の種類	3.累計での増加を目指す指標								
		本指標の設定理由	地域資源を活かした市民活動の充実度を示す指標			最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に掲げる施策の指標に基づき、最終目標を設定した。				
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
		指標の種類									
		本指標の設定理由				最終目標値の設定の考え方					
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	花園日曜市やウォークなどのイベントと連携し効果的に配布できた。								
		成果指標	NPOサポートセンターとの連携による事業の周知や着実な実施により、新規団体が増加し目標を達成することができた。								
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	家申 正治	課等長名	大内 範子	リーダー名	副主幹	中村 真也	担当者名	主事	堀川 七恵	主事	菊池 萌
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	大内 範子	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	副主幹	中村 真也	主事	堀川 七恵

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	愛ランド里島構想推進事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	224	個別プログラム	笑顔を育むプログラム	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	選ばれたる都市づくり						主な取り組み	風早・忽那諸島の活性化	
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり				市長公約	531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります		
取り組みの柱	島しょ部の交流人口・定住人口の増加や、農水産物の販路拡大などにより持続的な発展と活性化を目指す、「松山市愛ランド里島構想」を推進します。						風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。		
総合戦略	4611	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	①『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づき、住民が主体となって、地域固有の資源や魅力を生かした特色あるまちづくりを進めます。また、小説ゆかりの史跡など、各地域の魅力ある資源に触れるウォーキングイベントなどにより、まちの回遊性を高め、市民に郷土の歴史や文化を再認識してもらうことで、地域への愛着とまちづくりに対する機運を醸成します。			
		政策	⑥誰も活躍できるふるさとづくりの推進						
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等	離島振興法、愛ランド里島構想								
事業の目的(どのような状態にするか)	過疎化・少子高齢化が急速に進む島しょ部(忽那サブセンターゾーン)の持続的な発展と活性化を目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	愛ランド里島構想の重点プロジェクトである「定住の促進」「里島ツーリズムの促進」などを旨とする取組として開始された。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	本市島しょ部の持続的な発展と活性化に資する以下の取組を行っている。 ・まつやま里島ツーリズム連絡協議会の活動支援等による里島ツーリズムの推進(対象者:来島者及び島しょ部の住民 補助金の交付先:まつやま里島ツーリズム連絡協議会) ・独身者を対象とした出会いの機会の創出(対象:島しょ部の独身男性 委託先:愛媛県法人会連合会(えひめ結婚支援センター)) ・移住フェアでのPR等による定住の促進(対象:都市部住民ほか) ・島しょ部からの通勤・通学者の支援等による定住の促進、親元を離れて下宿する学生を持つ親への支援、松山北高校中島分校へ通学する生徒への補助 ・離島振興関係団体への加入による情報収集及び情報発信 ・移住促進施設や里島空き家バンクの整備による定住の促進(対象:移住を考えている方 委託先:興居島体験滞在型交流施設管理組合など)								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	23	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				47,444				54,813	59,305	
決算額(B)(単位:千円)				34,373				35,343		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金		3,400				6,466	10,512		
	県支出金		0				0	0		
	市債		0				0	0		
	その他		3,000				2,845	4,347		
一般財源		27,973				26,032	44,446			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					補助金 21,935千円 委託料 10,385千円 負担金 808千円			補助金 39,984千円 委託料 14,804千円 負担金 808千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			13,071				19,470		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組内容	・まつやま里島ツーリズム連絡協議会への補助金の支出・運営支援 ・里島活性化事業(出会いの機会の創出等) ・お試し移住施設や里島空き家バンクの整備による定住の促進 ・忽那諸島のプロモーション動画の作成・公開 ・姫ヶ浜荘を拠点にしたワーケーションモニターツアーの実施								
主な取組内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により、実際に島しょ部に足を運ぶ機会が限られる中、忽那諸島のプロモーション動画の公開やワーケーションモニターツアーの実施などでウィズコロナ、アフターコロナを見据えた取組みができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由						島しょ部の魅力を活かした事業の実施により、移住定住の促進や交流人口の拡大が図られたため。	
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の実施が大幅に制限される可能性がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取組む改善策		・イベントの実施可否や周知方法等について、状況を注視しながら関係団体と連携し進める。		
R4年度の目標	・里島ツーリズムの推進 ・独身者を対象とした出会いの機会の創出 ・お試し移住施設(神浦定住促進施設,興居島体験滞在型交流施設),里島空き家バンクなどによる移住・定住の促進 ・お試し移住施設の居住者を定住につなげるため、交流イベントの実施等,安定した管理組合の運営支援 ・姫ヶ浜荘を活用したサステナブルツーリズムの推進による関係人口等の拡大				R4年度の主な取組内容(予定含む)		・まつやま里島ツーリズム連絡協議会への補助金の支出・運営支援 ・里島活性化事業(出会いの機会の創出,移住・離島フェアでのPR等) ・通勤通学者等支援事業 ・神浦定住促進施設及び興居島体験滞在型交流施設の管理委託 ・里島空き家バンクの有効活用による定住の促進 ・姫ヶ浜荘を拠点にしたワーケーションモニターツアーの実施 ・忽那諸島のプロモーション活動		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	島しょ部への移住定住促進や交流人口拡大に向けた県外でのPR回数	回	目標値	5	5	5	5	5	目標値	5	
			実績値	5	3	1			達成年度	R6年度	
		%	達成度	100	60	20					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方	限られた予算の中でPRを実施するため、より効果的なイベントを厳選し出展していくため。				
		本指標の設定理由	「移住定住」や「体験メニュー・イベントの実施」などを直接呼び掛ける機会であり、活動指標としても相応しいため。								
	出合いの機会の提供数	回	目標値	2	2	2	2	2	目標値	2	
			実績値	2	1	1			達成年度	R6年度	
		%	達成度	100	50	20					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方	限られた予算の中でPRを実施するため、より効果的なイベントを厳選し出展していくため。				
		本指標の設定理由	「移住定住」や「体験メニュー・イベントの実施」などを直接呼び掛ける機会であり、活動指標としても相応しいため。								
	空き家情報の収集(調査)件数	回	目標値	10	10	10	10	10	目標値	10	
			実績値	22	19	10			達成年度	R6年度	
%		達成度	220	190	100						
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方	1年度あたり中島4~5件、興居島3件、その他の島2~3件の10件程度を想定している。					
	本指標の設定理由	空き家バンク運営のための基礎となる取組についての数値であるため。									
成果指標 (3つまで設定可)	里島めぐり体験メニュー参加者数	人	目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	目標値	8,000	
			実績値	12,568	5,899	4,492			達成年度	R6年度	
		%	達成度	158	74	56					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方	毎年の実績及び体験メニュー数に基づき、地域住民が無理なく主体的に取り組める適切な数値であるため。				
		本指標の設定理由	交流人口の増加を図る指標として相応しいため。								
	提供した出合いの機会を経た成婚数	世帯	目標値	11	13	15	17	19	目標値	19	
			実績値	12	12	13			達成年度	R6年度	
		%	達成度	109	92	87					
		指標の種類	3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方	出合いの機会の提供1回あたりにつき1組の成婚を目標とする。(毎年度2回)				
		本指標の設定理由	定住人口の増加を図る指標として相応しいため。								
	里島空き家バンクへの新規物件掲載件数	件	目標値	21	28	35	42	49	目標値	49	
			実績値	57	73	85			達成年度	R6年度	
%		達成度	271	260	171						
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方	調査する空き家の中には、築年数が進んだものや手入れがほとんどなされてなく状態が著しく悪いものもあり、調査した物件全てが掲載できるものでないため、毎年度7件の物件掲載を目標とする。					
	本指標の設定理由	移住を検討するうえで重要な要素である「住まい」の情報をどれだけ提供することができたかの実績数値であるため。									
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	・新型コロナウイルス感染症の影響があり、都市部でのフェアなどがオンラインでの実施になったものがあった。 ・出合い事業では、感染症予防策をとりながら婚活ツアーを1回実施できた。 ・空き家情報の掲載を行い、移住・定住の機会が提供できた。									
	成果指標	・オンラインでのPR活動などで、お試し移住施設や体験メニュー・イベントなどのPRを行うことができた。 ・専門的なノウハウや豊富な経験を有する団体に業務委託し、イベント後のカップルのアフターフォローを行うことで、成婚への実績につながった。 ・新聞の折り込み広告や空き家へのチラシ投函を行うなど、積極的に物件の情報提供を依頼した。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	家串 正治	課等長名	大内 範子	リーダー名	副主幹	中村 真也	担当者名	副主幹	森 晋也	主任	山崎 泰平
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	大内 範子	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	主任	山崎 泰平		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	里島地域おこし推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	224	個別プログラム	笑顔を育むプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト
施策	選ばれる都市づくり		市長公約	531	主な取り組み	風早・忽那諸島の活性化
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり					自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります
取り組みの柱	島しょ部の交流人口・定住人口の増加や、農水産物の販路拡大などにより持続的な発展と活性化を目指す、「松山市愛ランド里島構想」を推進します。		取組み	531	③ 地域おこし協力隊制度を活用し、地域の実情や住民の要望に応じた課題の解決や地域の活性化を図るとともに、任期終了後の定住に取り組みます。	風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。
総合戦略	2243	基本目標 ②松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策) 政策 ②移住の促進 施策 ④移住体験・機会の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り			
根拠法令,条例,個別計画等	愛ランド里島構想					

事業の目的(どのような状態にするか)	平成24年3月に策定された『愛ランド里島構想』に基づき、構想の重点プロジェクトの一つである定住の促進を図りながら、外部の視点ならではの地域の魅力発信等により、里島ツーリズムの促進も図っていくことで、構想の趣旨である島しょ部の持続的な発展と活性化を目指す。					
背景(どのような経緯で開始したか)	島しょ部の持続的な発展と活性化を目的として策定された『愛ランド里島構想』の重点プロジェクトに位置付けられている。定住の促進とともに、島外の方ならではの視点による地元住民には気づかない景観・歴史・自然といった魅力を発信しながら、里島ツーリズムの促進など地域活性化を図るものとして、平成28年度に本市でもこの制度を導入した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:地域おこし協力隊 事業内容:地域おこし協力隊が行う、島しょ部の持続的な発展と活性化のために必要な活動支援を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 28	～	令和 6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費	R3 予算措置時期	当初	12月補正
				R2年度			R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				8,867			9,079			9,479	
決算額(B)(単位:千円)				7,157			6,143				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0			0	
	県支出金			500			0			500	
	市債			0			0			0	
	その他			0			0			0	
一般財源				6,657			6,143			8,979	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							会計年度任用職員報酬4,069千円 会計年度任用職員手当 662千円			会計年度任用職員報酬4,917千円 協力隊起業支援補助金1,000千円 会計年度任用職員手当 875千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越補正,流用,事業統合等							12月補正で2,647千円減 流用による減あり				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			1,710			2,936	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	最長3年間の雇用で、初年度はまず「地域を知る」ことをテーマに、地域の行事・イベントなどに積極的に参加・協力し、SNS等にて情報発信することで、島しょ部の認知度向上を図った。2年目以降は情報発信に加え、任期終了後の定住に向けた活動にも取り組んだ。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	地域事業に積極的に参加するなど、地域の団体との連携を図るとともに、自立に向けた様々な活動に取り組んだ。 新規隊員採用については、予定した1名を確保できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地域の行事・イベントなどに積極的に参加するなど、地域の団体と連携を図るとともに、任期後を見据え様々な活動に取り組んだため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の実施が大幅に制限される可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		新型コロナウイルスの感染拡大防止により、活動が制限される可能性があるが、今後の動向に注視しながら、地域に根付いた活動を行う。	
R4年度の目標	新規隊員確保に向け、採用試験を実施する。各隊員の定住・起業に向けて、地域や関係機関との連携により、各種補助を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		1年目の隊員には、地域を知るために地域活動及びイベント等への参加を促すとともに、地域での積極的な活動ができる環境を整える。 2年目の隊員には、地域との連携強化を促すとともに、起業及び定住に向けてのサポートを行う。 採用試験を行い、新規隊員1名を確保する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	SNS等での情報発信回数(1人あたり)	回	目標値	50	50	50	50	50	目標値	50	
			実績値	37	51	46			達成年度	R6年度	
		%	達成度	74	102	92					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		単年度で1週間に1回の割合で情報発信を行うため。			
	本指標の設定理由	里島ツーリズムの促進など地域活性化にどれだけ貢献したかを測る指標として相応しいため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	隊員が連携した地域団体数	団体	目標値	9	9	9	9	9	目標値	9	
			実績値	10	8	16			達成年度	R6年度	
		%	達成度	111	89	178					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		現在の連携団体先を確保しながら、新たな連携先を開拓していく。			
	本指標の設定理由	協力隊の持つ視点や考え方を地域団体と共有することで、地域活性化にどれだけ貢献できたかを測る指標として相応しいため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	イベント等の開催数が減った影響により、目標値を達成できなかった。									
	成果指標	隊員が新たに農業関係団体との連携を開始したため、目標値を大きく上回ることができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	課等名	担当グループ名	連絡先
	部等長名	課等長名	リダー名	担当者名
令和3年度	部局等名	課等名	担当グループ名	連絡先
	部等長名	課等長名	リダー名	担当者名

令和3年度 部局等名: 坂の上の雲まちづくり部 課等名: まちづくり推進課 担当グループ名: 愛ランド里島構想推進担当 連絡先: 948-6816

令和3年度 部等長名: 吉田 健二 課等長名: 大内 範子 リダー名: 主幹 担当者名: 石川 さおり 副主幹: 中村 真也 主事: 大森 俊介

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	姫ヶ浜荘整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-	
施策	選ばれる都市づくり			主な取り組み	-	
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり		市長公約	-		
取り組みの柱	島しょ部の交流人口・定住人口の増加や、農水産物の販路拡大などにより持続的な発展と活性化を目指す、「松山市愛ランド里島構想」を推進します。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市姫ヶ浜荘条例、松山市姫ヶ浜荘条例施行規則					
事業の目的(どのような状態にするか)	離島振興の施策に取り組むための拠点施設として重要な役割を担っている姫ヶ浜荘を新たに整備する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	姫ヶ浜荘は築後38年以上経過し、老朽化が著しく、宿泊・入浴・食事の機能も分散して配置されていることから、利用者の安全確保及び利便性の向上を図るため、実施することとした。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	姫ヶ浜荘整備工事は令和元年度に開始し、2年度に完了した。令和3年度は、工損調査等を実施予定であった。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 30	～	令和 3	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	離島振興費	R3 予算措置時期	繰越
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度				R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					363,514				7,000		0
決算額(B)(単位:千円)					347,989				0		0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0		0
			県支出金		0				0		0
			市債		305,400				0		0
			その他		0				0		0
			一般財源		42,589				0		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算											
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	15,525				7,000		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	工損調査等を実施予定であったが、周辺の建物等に工事の影響がみられず、工損調査等を実施する必要がなかった。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	周辺の建物等に工事の影響がみられなかった点		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	里島ツーリズムや各種イベントなど、島しょ部地域と来島者の交流人口拡大を図る施策等の拠点として機能するとともに、島しょ部の数少ない宿泊者の受け入れ先として大きな役割を果たしているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			
R4年度の目標			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施設計委託の進捗率	%	目標値	-	-	-	-	-	目標値	100	
			実績値	-	-	-	-	-	達成年度	H30年度	
		%	達成度	-	-	-	-	-			
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	実施設計委託の完了				
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指数の前提となるものであるため									
	姫ヶ浜荘整備工事の進捗率	%	目標値	60	100	-	-	-	目標値	100	
			実績値	75	100	-	-	-	達成年度	R2年度	
		%	達成度	125	100	-	-	-			
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	整備工事の完了				
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指数のため									
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	%	目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	家串 正治	課等長名	大内 範子	リーダー名	副主幹	中村 真也	担当者名	主任	山崎 泰平	主事	堀川 七恵
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	大内 範子	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	主任	山崎 泰平	主任	大森 俊介

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	姫ヶ浜荘等管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	選ばれる都市づくり			主な取り組み	-		
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり		市長公約	-			
取り組みの柱	島しょ部の交流人口・定住人口の増加や、農水産物の販路拡大などにより持続的な発展と活性化を目指す、「松山市愛ランド里島構想」を推進します。			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市姫ヶ浜荘条例,松山市姫ヶ浜荘条例施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	島しょ部の交流人口拡大による地域の活性化を図るため、島外から中島を訪れる方の 宿泊やキャンプ利用の受け入れ施設である姫ヶ浜荘等の維持管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年度の市町村合併により、中島町から移管。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象(施設):姫ヶ浜荘・長師休憩所・大串キャンプ場 事業内容:市内外から利用のある上記対象施設の管理を行う。姫ヶ浜荘は利用料金制の指定管理で指定管理料の支出はない。長師休憩所及び大串キャンプ場は施設のある地元地区へ管理委託料を支出している。そのほか、施設の維持管理に必要な光熱水費や設備点検費用等を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		松山市姫ヶ浜荘条例(宿泊料、賃室料)及び松山市姫ヶ浜荘条例施行規則(器具利用料)で規定		
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						11,234		8,466		9,151
決算額(B)(単位:千円)						9,601		9,839		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				1,333		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				1,575		1,954		2,300	
	一般財源				6,693		7,885		6,851	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						光熱水費2,615千円 サメネット設置,浄化槽保守点検,フリーWi-Fi運用保守業務ほか委託料 4,313千円		光熱水費3,067千円 サメネット設置,浄化槽保守点検,フリーWi-Fi運用保守業務ほか委託料 4,002千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,633		-1,373		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	姫ヶ浜荘等の維持管理業務(指定管理(利用料金制)) 指定管理者:特定非営利活動法人ふれ愛ランド中島					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染症の影響で利用できない期間があったが、リニューアルや周知の効果により、前年に近い利用者数を確保できた。
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		里島ツーリズムや婚活イベントなど、島しょ部地域と来島者の交流人口拡大を図る施策等の視点として機能するとともに、島しょ部の数少ない宿泊者の受け入れ先として大きな役割を果たしているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1 1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルスの影響により、利用者数が左右される可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで、安心して利用してもらえる施設を目指す。	
R4年度の目標	適正な施設管理及び運営を行う。 姫ヶ浜荘の利用者数(宿泊):1,550人以上		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		姫ヶ浜荘等の維持管理業務 指定管理に関する業務	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	リーフレット配布箇所	箇所	目標値	—	25	27	29	31	目標値	33	
			実績値	—	25	30			達成年度	R6年度	
			% 達成度	—	100	250					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	年間2ヶ所配布箇所を増加させる。				
	本指標の設定理由	施設の周知、利用を促す取組み状況を表す指標であるため									
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	姫ヶ浜荘利用者数の目標達成率	人	目標値	—	1,400	1,500	1,550	1,600	目標値	1,650	
			実績値	—	1,964	1,945			達成年度	R6年度	
			% 達成度	—	140	130					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	現在の利用者数を確保しながら、新たな顧客獲得に向け情報発信等を行っていく。				
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指数の前提となるものであるため									
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	金融機関や商業施設へ新たにリーフレットを配布したため、目標値を達成できた。									
	成果指標	天候にも左右されるが、リーフレット配布や動画作成などのプロモーション活動により目標を達成できた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	風早レトロタウン構想促進事業担当	連絡先	089-948-6991	
	部等長名	家串 正治	課等長名	大内 範子	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	主事 吉野 雄亮
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	風早レトロタウン構想促進事業担当	連絡先	089-948-6991	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	大内 範子	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	主任 宮本 智美

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32114	風早レトロタウン構想促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	224	個別プログラム	笑顔を育むプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト
施策	選ばれた都市づくり		市長公約	531	主な取り組み	風早・忽那諸島の活性化
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
取り組みの柱	「昭和の賑わいを求めて」のテーマのもと、地域住民、関係団体、行政が協働し、北条地域全体の活性化を図る、「松山市風早レトロタウン構想」を推進します。		取組み	531	①「坂の上の雲」フィールドミュージアム構想に基づき、住民が主体となって、地域固有の資源や魅力を生かした特色あるまちづくりを進めます。また、小訥ゆかりの史跡など、各地域の魅力ある資源に触れるウォーキングイベントなどにより、まちの回遊性を高め、市民に郷土の歴史や文化を再認識してもらうことで、地域への愛着とまちづくりに対する機運を醸成します。	
総合戦略	4611	基本目標			④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	
		政策			⑥誰もが活躍できるふるさとづくりの推進	
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り		
根拠法令,条例,個別計画等	松山市風早レトロタウン構想					

事業の目的(どのような状態にするか)	「坂の上の雲」フィールドミュージアムのサブセンターゾーンとして位置づけられている北条地域の活性化を図るため、地域の抱える課題解決に向けた取り組みを進めることにより、住民一人ひとりが笑顔で暮らせる活気のある地域を目指す。					
背景(どのような経緯で開始したか)	鹿島の渡船利用者数が年々減少傾向になるなど地域資源の魅力を十分に引き出せず、産業でも松山地区への通勤・通学により昼間人口が減少するなど、かつてのにぎわいを失っている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	北条地域の地元住民や商工関係者、まちづくり協議会等の団体で構成している「風早活性化協議会」が主体となって、北条地域の資源活用事業やイベント開催による誘客事業、北条地域の魅力体験型事業、郷土料理である北条鯛めしの普及など、北条地域への誘客に繋げるとともに、交流人口の拡大を図っている。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 24	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務監理費		目	企画費	R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				6,378		5,402		4,888			
決算額(B)(単位:千円)				4,729		1,832					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			500		990		753			
	一般財源			4,229		842		4,135			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						・風早活性化協議会負担金:1,619千円 ・風早活性化補助金:100千円		・風早活性化協議会負担金:4,648千円 ・風早活性化補助金:100千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,649		3,570			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	北条地域の地元住民・団体で構成する「風早活性化協議会」へ負担金を支出し、北条地域の地元住民や団体と協働して地域内外の人に北条地域の魅力に触れてもらう事業を実施した。北条地域のメインイベントである「風早にぎわいレトロまつり」は、これまでの北条地区を中心とした開催から、スポーツ・レクリエーション施設や教育文化施設などが充実した「文化の森(河野別府公園)」で、北条地域全体の交流拠点として開催し、北条地域全体のにぎわいの創出に取り組んだ。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止や規模を縮小しての事業実施となったことから、活動指標及び成果指標を評価することができない。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	各事業の取り組みの結果、交流人口の拡大が図られ、中核エリア・広域エリアの盛り上がりにつながった。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施などが大幅に制限される可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		・イベント実施時期や周知方法などについて、状況を注視しながら関係団体と連携し進める。	
R4年度の目標	・地元住民のまちづくりへの意識の高まりを測る指標として、風早活性化協議会会員数55名を目指す。 ・北条地域の歴史や文化、自然を活かし、地域の魅力を知る機会の充実に向けて、北条地域のメインイベントである「風早にぎわいレトロまつり」への出店・出演数60団体を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		1. 北条地域の地元住民・団体で構成する「風早活性化協議会」への負担金の支出による地域住民が主体となった事業の実施 2. 北条地域の活性化に寄与する活動を行う団体への支援(補助金を支出)	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	風早活性化協議会会員数	人	目標値	55	55	55	55	55	目標値	55	
			実績値	54	57	56		達成年度	R4年度		
		%	達成度	98.2%	103.6%	101.8%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	希望的数値として暫定的に目標とする。				
	本指標の設定理由	地元住民のまちづくり意識の高まりを測る指標として相応しいため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	風早にぎわいトロまつり出店・出演団体数	団体	目標値	50	60	60	60	60	目標値	60	
			実績値	56	33	0		達成年度	R4		
		%	達成度	112.0%	55.0%	0.0%					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	これまで前年度実績値+1団体を目標としてきたが、令和元年度以降会場の規模を拡大したことにより、60団体が最大値と考えていることから、令和2年度から60団体を目標とする。				
	本指標の設定理由	地元住民のまちづくり意識の高まりを測る指標として相応しいため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	コロナ禍であっても、活動を続け、会員数を維持している。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染拡大防止のため「風早にぎわいトロまつり」が中止となったため評価することができない。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	移住・定住	連絡先	948-6095				
	部等長名	家串 正治	課等長名	田中 健太郎	リーダー名	主査	高垣 真也	担当者名	主任	白石 修介	主事	久保 明日香
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	移住・定住	連絡先	948-6095				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リーダー名	主査	高垣 真也	担当者名	主任	白石 修介	主事	久保 明日香

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32141	移住定住促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	118	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	松山への新しい人の流れをつくる「心ひかれるまちづくり」プロジェクト
施策	選ばれる都市づくり		市長公約	532	主な取り組み	移住促進や移住者の受入環境整備
主な取り組み	移住・定住の促進				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
取り組みの柱	関係機関や民間事業者と連携し、体験ツアーなどのきっかけづくりや相談体制の充実、定着支援などを実施し、移住の促進を図ります。		取組み	① 松山、東京などに移住相談窓口を設けるとともに、首都圏や関西圏での移住フェアに出展するなど、移住検討者に対して松山での暮らしの情報を提供し、相談対応を行います。	風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。	
総合戦略	2221	基本目標 ②松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策) 政策 ②移住の促進 施策 ②移住相談体制の充実				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	移住候補地として本市の認知度を獲得することにより、移住検討者に移住地として選ばれるほか、本市に住み続ける人やUターンする人の増加を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	・地方創生先行型交付金の創設 ・本市の暮らしやすさの強みを活かし、移住・定住につながる新規事業を実施					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:首都圏及び関西圏などの都市部在住の移住希望者や松山在住の学生等。 事業内容:下記のとおり 1. 松山アンバサダー拡大事業の実施【委託料支出先:株式会社 ADKマーケティング・ソリューションズ 中国支社 愛媛オフィス】 2. 移住ウェブサイトの運営【委託料支出先:株式会社 アイムービック】 3. まつやま圏域移住フェアの開催 4. 松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施【委託料支出先:株式会社 フジトラベル・サービス EC団体旅行松山支店】 5. 松山市外の都市部の女性と、松山在住の男性との出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施【委託料支出先:一般社団法人 愛媛県法人会連合会】 6. 東京やオンラインで開催される移住フェアへの出展【負担金支出先:えひめ移住交流促進協議会、特定非営利活動法人 100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター】					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 27	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		企画費	R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目			
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				32,091		37,228		38,258		
決算額(B)(単位:千円)				23,786		34,557				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			11,543		15,404		14,569		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		1,000		0		
一般財源				12,243		18,153		23,689		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:32,265千円		委託料:32,761千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						地方創生推進交付金:14,589千円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:815千円 企業版ふるさと納税:1,000千円		地方創生推進交付金:12,669千円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:1,900千円		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		8,305		2,671		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	1. 松山アンバサダー拡大事業の実施 2. 移住ウェブサイトの運営 3. まつやま圏域移住フェアの開催 4. 松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施 5. 松山市外の都市部の女性と、松山在住の男性との出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施 6. 東京やオンラインで開催される移住フェアへの出展					
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	移住に関する相談人数、県外からの移住者数について、目標値を超える実績となったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本市への移住定住促進につながっているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	「移住に関する相談人数」「県外からの移住者数」とともに目標値を達成しているが、10代・20代の若者の転出超過が続いており、今後も若者の定着やUターンの促進に向けて重点的に取り組む必要がある。また、感染症の影響により、地方への関心が高まる中、この機会を好機と捉え、移住を推進する必要がある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		若者自らが松山の魅力を体感し、愛着や誇りを高めるため、若者目線の事業に取り組む。また、県外在住の方を対象に、日程や内容を自分で決められる「オーダーメイド型」の移住体感ツアーの参加者数を増やし、新たに、三津浜地区で起業に特化したツアーを開催する。
R4年度の目標	松山ならではの特色を活かし、一人ひとりに寄り添うことで、地元の若者だけでなく、日本全国から「住みたい」「住み続けたい」と思われるまちを目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		1. 松山アンバサダー拡大事業の実施 2. 移住ウェブサイトの運営 3. まつやま圏域移住フェアの開催 4. 松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施 5. 都市部在住者と松山在住者の出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施 6. 東京や大阪、オンラインで開催される移住フェアへの出展

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	移住に関する相談人数	人	目標値	740	1,140	1,540	4,500		目標値	4,500	
			実績値	2,537	3,133	3,846			達成年度	R4年度	
			% 達成度	300	149	178					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	移住検討者数の把握をするため、活動成果の目標値とするもの。				
	本指標の設定理由	松山への移住検討者数の傾向を把握する指数であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	県外からの移住者数	人	目標値	960	1,210	1,460	6,200		目標値	6,200	
			実績値	1,631	2,357	4,295			達成年度	R4年度	
			% 達成度	189	290	775					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	県外からの移住者の把握をするため、活動成果の目標値とするもの。				
	本指標の設定理由	県外からの移住者数を把握する指数であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	オンライン移住相談や移住フェアへの積極的な出展により、予定を上回る移住相談人数を達成できた。									
	成果指標	移住希望者のニーズに合わせた情報提供や取組により、予定を上回る移住者数を達成できた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	「シティブランド・ランキング-住みよい街2021-」中国・四国エリア1位										

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	三津浜地区活性化担当	連絡先	948-6991-6942				
	部等長名	家申 正治	課等長名	大内 範子	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	副主幹	山本 彰一	主事	松谷 咲良
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	三津浜地区活性化担当	連絡先	948-6991-6942				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	大内 範子	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	副主幹	山本 彰一	主事	吉野 雄亮

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	32214	三津浜地区活性化推進事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	221	個別プログラム	笑顔を育むプログラム	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	観光産業の振興						主な取り組み	地域資源の利活用と知る機会の充実	
主な取り組み	観光都市としての魅力向上				市長公約	531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります		
取り組みの柱	古き時代の面影を残す古建築や、子規、芭蕉の句碑などの文化遺産が残る三津浜地区について、道後温泉や松山城に次ぐ集客拠点を目指します。						風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。		
総合戦略	4611	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	①『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づき、住民が主体となって、地域固有の資源や魅力を生かした特色あるまちづくりを進めます。また、小説ゆかりの史跡など、各地域の魅力ある資源に触れるウォーキングイベントなどにより、まちの回遊性を高め、市民に郷土の歴史や文化を再認識してもらうことで、地域への愛着とまちづくりに対する機運を醸成します。			
		政策	⑥誰も活躍できるふるさとづくりの推進						
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等	三津浜地区活性化計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	『坂の上の雲』フィールドミュージアムのサブセンターゾーンとして位置づけられている三津浜地区の活性化を図るため、港町として栄えた面影が今も息づく歴史や文化など、三津浜地区の魅力ある地域資源を活用し同地区のにぎわいを創出する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	三津浜地区は、港町独自の歴史や文化、魅力ある古民家などが数多く残っているが、港町としてのまちの活力が失われ、商店街では空き店舗が目立つようになっている。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】 負担金交付先:三津浜地区にぎわい創出実行委員会 【事業内容】 三津浜地区の新たなにぎわいを創出する取り組みを実施する。 ○三津浜地区にぎわい創出実行委員会 ・三津浜地区にある地域資源を活用しながら、地区内外の多様な人が参加するイベントを開催 ・「三津浜地区の食文化」の普及に向けた取り組み ・チャレンジショップの管理運営 ・三津浜地区のまちづくり活動の支援や「町家バンク」の管理運営を行う「三津ハマル」を開設 ・シェアショップの管理運営 ・地域資源の情報発信 ・地域資源の情報発信 ○三津浜地区の活性化に寄与する活動を行う団体に対し、対象経費の2分の1で10万円を限度とした支援を実施								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由		特定の利益に繋がるものではなく、三津浜地区全体の振興を図るものと考えており負担はない。			
始期・終期(年度)	平成	24	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				19,800		12,870		13,020		
決算額(B)(単位:千円)				16,106		12,755				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			1,000		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			15,106		12,755		13,020		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						・負担金補助及び交付金:12,700千円 ・需用費:20千円 ・役員費:35千円		・負担金補助及び交付金:12,950千円 ・需用費:20千円 ・役員費:40千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		3,694		115		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	○三津浜地区にぎわい創出実行委員会へ負担金の支出・運営支援 ・イベントの開催 ・三津浜焼きのブランド化 ・チャレンジショップ・シェアショップの管理運営 ・町家バンクの管理運営 ・地域資源の情報発信							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止になったため、活動指標及び成果指標を評価することが出来ない。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、三津浜地区の地域資源を活用した新たな賑わいを創出している。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの実施などが大幅に制限される可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		イベントの実施時期や周知方法等について、状況を注視しながら関係団体と連携し進める。			
R4年度の目標	魅力ある地域資源を活用し、新たな賑わいの創出を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		○三津浜地区にぎわい創出実行委員会へ負担金の支出・運営支援 ・チャレンジショップ・シェアショップの管理運営 ・三津浜焼きのブランド化 ・町家バンクの管理運営 ・地域資源の情報発信 ・移住希望者等へのニーズ調査			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①町家バンクで借り手に紹介する登録物件数	件	目標値	106	125	146	173	176	目標値	179	
			実績値	122	143	170			達成年度	R6年度	
		%	達成度	633	700	900					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	町家バンクを運営することによる新たな賑わい創出のための活動量を測る指標として相応しいため							前年度実績値+3件の増加を目標とする		
	②地域と連携して開催するイベント数	件	目標値	1	1	1	1	1	目標値	1	
			実績値	1	0	0			達成年度	R6年度	
		%	達成度	100	0	0					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	交流人口を拡大するための活動量を測る指標として相応しいため(将来的には、行政の負担金による支援を受けず、イベントを継続できることが望ましいため、減を良しとした指標としている。)							令和3年度から2年に1回のイベント開催とし、実施予定のイベントの目標来場者数を目標とする		
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	①町家バンクの借り手と貸し手のマッチング	件	目標値	55	65	77	93	95	目標値	97	
			実績値	63	75	91			達成年度	R6年度	
		%	達成度	500	600	800					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	新たな賑わいを創出する上で指標として相応しいため							前年度実績値+2件の増加を目標とする		
	②地域と連携して開催するイベントの参加人数	人	目標値	15,000	15,000	6,000	6,000	0	目標値	6,000	
			実績値	16,288	0	0			達成年度	R6年度	
		%	達成度	108	0	0					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	交流人口の拡大を図る上で指標として相応しいため							令和3年度から2年に1回のイベント開催とし、実施予定のイベントの目標来場者数を目標とする		
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
	%	達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	①「町家バンク」制度を地区内に周知啓発することで、登録物件の目標を達成することができた。 ②新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止した。									
	成果指標	①三津浜地区の魅力を発信することで、マッチング件数の目標を達成することができた。 ②新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止したため、評価することが出来ない。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	上記の活動をとおして地域住民のまちづくりに対する機運が醸成された。										

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963		
	部等長名	家串 正治	課等長名	田中 健太郎	リダー名	副主幹	宮脇 康隆	担当者名	主任 亀岡 祥年	主任 浅田 明子
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963		
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リダー名	副主幹	久保 京介	担当者名	主任 亀岡 祥年	主任 浅田 明子

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	61111	地域におけるまちづくり推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5.補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	223	個別プログラム	笑顔を育むプログラム
政策	市民参画を推進する				重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト
施策	市民主体のまちづくり				主な取り組み	まちづくりに携わる団体等への支援
主な取り組み	地域団体活動への支援		市長公約	532	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
取り組みの柱	地域コミュニティ活動を活発にするため、住民の自治意識を醸成するための取り組みをはじめ、まちづくり協議会の普及拡大や、地域団体の活動や相談に対する支援体制の充実、地域指導者の育成など、活動を支援します。				風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。	
総合戦略	4614	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み		④ 地域の宝や特性を生かしたまちづくりを住民主体で行うための組織「まちづくり協議会」による自発的な取組を一層進めます。また、事例報告会などを通して、地域住民による特色あるまちづくりを進めます。	
		政策 ⑥誰も活躍できるふるさとづくりの推進				
		施策 ①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1.有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1.有り		

根拠法令,条例,個別計画等 松山市地域におけるまちづくり条例、まちづくり基本構想、まちづくり基本計画

事業の目的(どのような状態にするか)	住民自治組織「まちづくり協議会」の設立や設立後の支援を通じて市から一定の権限・財源・責任を移譲することで、自助・共助・公助の原則に基づく住民主体のまちづくりを推進し、地域分権型社会の実現を目指す。					
背景(どのような経緯で開始したか)	近年、住民ニーズの多様化や国際化などにより、求めるものも「モノの豊かさ」から「ココロの豊かさ」への変化が見られるなど、価値観やライフスタイルも多様化している。また、生産年齢人口の減少や長引く経済不況等の影響を受け、財政難から行政サービスの低下が懸念されている。加えて、コミュニティの希薄化も深刻であり、都市部はもちろん、本市でも隣近所とのつながりが薄れてきているといわれている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	「まちづくり協議会準備会」及び「まちづくり協議会」へ「松山市地域におけるまちづくり交付金」、「松山市地域におけるまちづくり補助金」を支出するほか、以下の支援を行う。 ①設立支援 ・各地区で勉強会や説明会を実施し、制度の主旨や概要を周知 ②設立後の支援 (まちづくり協議会準備会への支援) ・協議会設立のための組織づくりや規約づくりなどの技術的支援 (まちづくり協議会への支援) ・会議等への出席、まちづくり計画の策定支援、事業運営のアドバイス、各協議会同士の交流や情報交換の機会を提供 ③広報活動 ・まちづくり協議会の取組を周知するための広報 ④情報交換 ・「地域力パワーアップ大会」の開催を通じた、まちづくり協議会の活動の情報交換					
受益者負担の状況	負担の有無	3.負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 16	～	令和 4	終期の種別	2.事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				73,494			76,237			77,429
決算額(B)(単位:千円)				67,670			67,876			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
一般財源				67,670		67,876		77,429		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				地域におけるまちづくり交付金 49,890千円 地域におけるまちづくり補助金 16,271千円			地域におけるまちづくり交付金 52,358千円 地域におけるまちづくり補助金 23,043千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による減あり						
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		5,824			8,361			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会への交付金・補助金の支出</li> <li>まちづくり計画の策定支援</li> <li>他地区の取組に関する情報提供</li> <li>未設立地区への情報提供、準備会の設立等の支援</li> <li>コミュニティアドバイザーの派遣</li> </ul>					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	まちづくり計画の策定支援、地域力パワーアップ大会の開催等を通じて、まちづくり協議会への活動支援を行うことができた。また、令和3年度は、まちづくり協議会の設立は無かったが、未設立地区への情報提供など、まちづくり協議会の設立に向けた働きかけを行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1.貢献している	左記の理由		各地区のまちづくり協議会への支援を通じて、地域の魅力創出や課題解決等の取組につながっているため。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナの影響による、まちづくり協議会の活動の制約			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取組む改善策		コロナ禍での他地区の取組に関する情報提供、他地区との人材交流・連携強化による活動の活性化に取り組む。
R4年度の目標	まちづくり協議会への支援を通じたまちづくり協議会の活性化と普及拡大			R4年度の主な取組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会への交付金・補助金の支出</li> <li>まちづくり計画の策定支援</li> <li>他地区の取組に関する情報提供、他地区との人材交流・連携強化</li> <li>未設立地区への情報提供、準備会の設立等の支援</li> <li>コミュニティアドバイザーの派遣などの人的支援</li> </ul>

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	フェイスブック松山市まちづくり情報局のリーチ数	回	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000		目標値	20,000	
			実績値	5,134	23,642	20,217		達成年度	R4年度		
		%	達成度	26	118	101					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	今後、まちづくり協議会の認知度や地域のまちづくりに関心の高まりを図るため			最終目標値の設定の考え方		まちづくり協議会への理解を深めるため、広報啓発に力を入れて取り組んでおり、特に若い世代へのアプローチによる増加を見込んで設定				
	活動指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由				最終目標値の設定の考え方						
	活動指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由				最終目標値の設定の考え方							
成果指標 (3つまで設定可)	まちづくり協議会・設立準備会の設立数	地区	目標値	33	35	37	39		目標値	39	
			実績値	29	29	29		達成年度	R4年度		
		%	達成度	88	83	78					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	住民主体のまちづくりの進捗状況を図るため			最終目標値の設定の考え方		まちづくり協議会を設立する地区が順次増加していくことを見込んで設定				
	成果指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由				最終目標値の設定の考え方						
	成果指標		目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類											
本指標の設定理由				最終目標値の設定の考え方							
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	まちづくり協議会の認知度を高めるため、様々な広報媒体で啓発を進めており、その中でフェイスブックを活用した啓発の実績は、特に若い世代の関心を図る指標として参考になる。令和3年度は目標を達成したが、引き続き、地域の歴史、文化、行事等の地域の宝、まちづくり協議会が行う事業等の情報発信に取り組む。									
	成果指標	まちづくり協議会未設立の地区には、それぞれの地区の実情や意向を丁寧に聞き取り、十分に理解を得たうえで準備会設立等の働きかけを行う必要がある。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	家串 正治	課等長名	田中 健太郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	高須 薫	主事	今西 由季
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	川部 亜莉紗	主事	今西 由季

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61111	地域協働活動応援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	市民主体のまちづくり			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域団体活動への支援		市長公約	-		
取り組みの柱	地域コミュニティ活動を活発にするため、住民の自治意識を醸成するための取り組みをはじめ、まちづくり協議会の普及拡大や、地域団体の活動や相談に対する支援体制の充実、地域指導者の育成など、活動を支援します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	地域協働活動応援事業は、より暮らしやすい地域づくりのため、町内会連合会や町内会・自治会などの地域コミュニティ組織を支援し、また、地域住民が自主的に行う防犯、社会福祉、環境美化などの地域活動を推進する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成25年度の広報委員制度見直しに伴い、これまで広報委員が担っていた広報・広聴業務や防犯活動、募金活動などの地域活動が停滞する懸念があったため、制度見直し後も円滑に地域活動が実施されるよう、平成26年度から、地域が行う様々な活動を支援する本事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	(1)地域協働団体の支援:松山市内40地区の地域協働団体(まちづくり協議会、町内会連合会など)と地域協働活動の実施に関する協定書を締結し、その協定に基づいて交付金を交付する。また、各地域協働団体が開催する定例会に市職員が出席し、市政の周知や地域に対する依頼を行うほか、地域からの意見や要望を聴くなど、地域との連携を図る。 (2)地域活動保険への加入:地域の方々が安心してコミュニティ活動に参加できるよう、地域協働活動中のケガや事故を対象とした保険制度に加入する。 (3)町内会への加入促進:町内会への加入率の低下により、地域活動の停滞が懸念されることから、町内会等の状況調査を実施して加入率の推移を把握するとともに、町内会加入啓発パンフレットを転入者に配布して啓発を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 26	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		社会福祉費		市民活動費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目	R4年度			
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				56,810		56,977		57,831			
決算額(B)(単位:千円)				56,547		57,146		57,831			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			56,547		57,146		57,831			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算						負担金補助及び交付金	56,048千円	負担金補助及び交付金	56,314千円		
						役務費	1,078千円	役務費	1,500千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		263		-169			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地域協働団体の支援 地域活動保険への加入 町内会への加入促進												
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			各地区で円滑に事業を進めることができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、地域活動が促進された。								
事業の公共性	必要性		2		1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性		1		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下によって、町内会への未加入者が増加している。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			各地区定例会に職員が出席し、各地の課題や要望などを把握しながら、地域活動の促進を支援する。				
R4年度の目標	地域協働団体の支援や町内会加入啓発を継続し、地域活動の促進を目標とする。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			地域協働団体への財政支援や地域活動保険の加入により地域活動を促進するほか、町内会への加入促進を図る。				

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	町内会等への加入促進チラシ活用の案内	回	目標値	1	1	1	1		目標値	1	
			実績値	1	1	1		達成年度	R4年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		町内会連合会の総会の回数を周知目標とした。			
	本指標の設定理由	町内会加入率を上げる指標として相応しいため。									
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	町内会加入率	%	目標値	81	82	83	84		目標値	84	
			実績値	74	73	73		達成年度	R4年度		
		%	達成度	92	90	88					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		中核市の町内会加入率調査結果より、高水準の数値を目標とした。			
	本指標の設定理由	地域活動への関心の高まりを測る指標として相応しいため。									
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値					達成年度			
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	地域協働団体連絡会で加入啓発のチラシを配布し啓発に努めたことで、目標を達成することができた									
	成果指標	減少に歯止めをかけるため、町内会連合会などの地域協働団体が開催する定例会に職員が出席し加入啓発に努めた									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	課等名	担当グループ名	連絡先
	部等長名	課等長名	リーダー名	担当者名
令和3年度	部局等名	課等名	担当グループ名	連絡先
	部等長名	課等長名	リーダー名	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61111	地域おこし活動促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	笑顔を育むプログラム	
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	市民主体のまちづくり			主な取り組み	まちづくりに携わる団体等への支援	
主な取り組み	地域団体活動への支援		市長公約	531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
取り組みの柱	地域コミュニティ活動を活発にするため、住民の自治意識を醸成するための取り組みをはじめ、まちづくり協議会の普及拡大や、地域団体の活動や相談に対する支援体制の充実、地域指導者の育成など、活動を支援します。			風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。		
総合戦略	2243	基本目標 ②松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策) 政策 ②移住の促進 施策 ④移住体験・機会の充実	取組み	③ 地域おこし協力隊制度を活用し、地域の実情や住民の要望に応じた課題の解決や地域の活性化を図るとともに、任期終了後の定住に取り組みます。		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等						

事業の目的(どのような状態にするか)	人口減少等の地域課題を抱える地区に地域おこし協力隊を派遣し、新たな視点での地域活動を推進することで地域の活性化を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	人口減少等を抱える地域を活性化するため、地域おこし協力隊を派遣し、新たな視点で地域活動を促進する。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	地域おこし協力隊と地域の団体が協働して地域資源の発掘やSNSを活用した魅力の発信、イベント事業の企画等を行うことで地域の活性化を図る。 北条地域 1名(R1.10～)					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 28	～	令和 3	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		社会福祉費		市民活動費	R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目			
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				3,644		3,736		0		
決算額(B)(単位:千円)				3,160		2,768				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			3,160		2,768		0		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						報酬	1,526千円			
						使用料及び賃借料	432千円			
						職員手当等	407千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		484		968		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地域の魅力を発掘し、その魅力をSNSを活用し地域内外に発信。 ビーチクリーン活動を地域団体と協働で行うなど地域活性化を図る企画を実施。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	隊員による地域の魅力の掘り起こしおよび学校やイベントで地域の魅力に関する講演を行なった。また、SNSを活用した魅力の情報発信や新たな企画提案で地域の活性化を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地域活性化が図られている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,課題となっている事項	地域おこし協力隊の退職を契機に事業の在り方を検討し、これまで人口減少等の地域課題を抱える地区の活性化といった大きな目的から、特定の目的に絞った募集方法へ変更することにより本事業を廃止とした。地域おこし協力隊員の活動には地元の方の協力が不可欠であるため、事前に採用する地域や隊員が望む活動との十分な調整が必要である。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取組み改善策			
R4年度の目標			R4年度の主な取組み内容(予定含む)			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	協力隊活動への参加	回	目標値	—	2	2			目標値	2	
			実績値	—	2	2			達成年度	令和3年度	
		%	達成度	—	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	半期ごとに参加し、活動状況や効果を把握する。				
	本指標の設定理由	市も協力隊が活動するイベント等に参加し、活動の効果等を把握する									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	地域おこし協力隊採用人数	人	目標値	4	4	4			目標値	4	
			実績値	3	3	3			達成年度	R3年度	
		%	達成度	75	75	75					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	派遣は各地区からの要望等により決定するため、対象地区数を最大目標値とした。				
	本指標の設定理由	採用人数が派遣地区数となるため、成果を表す指標になる。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	隊員の活動実績を把握しながら、適宜必要な助言を行うことができた。									
	成果指標	地域の要望等をもとに隊員の派遣を行い、地域の活性化を図り、一定の成果を挙げることができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	家串 正治	課等長名	田中 健太郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	高須 薫	主事	今西 由季
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	今西 由季	主事	川部 亜莉紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61112	コミュニティ活動振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	市民主体のまちづくり			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域団体活動への支援		市長公約	-			
取り組みの柱	地域コミュニティ活動の拠点施設について、老朽化の状況などを踏まえた整備・更新を行うとともに、支所や公民館などの公共施設の有効活用を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	旧北条市から引き継いだコミュニティ集会所について、修繕の要望に基づき予算の範囲内で工事を行い、従来から住民にとって最も身近なコミュニティ活動の拠点となっていた集会所を維持する。活動の拠点を維持することで、地域のコミュニティを保ちながら活動の活性化を図り、住民が主体となったまちづくりの実践に繋げていく。また、災害発生時の一時的な避難場所としても活用することで、住民の安心安全を確保する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	北条コミュニティ集会所の修繕等については、従来、市と各区の管理に関する覚書に基づき地元負担となっていた。集会所の老朽化や建物が市有施設であるため、市への修繕の要望が多くなり、平成23年度からは一定の条件を満たす場合に対応することとなった。 コミュニティ助成は、一般財団法人自治総合センターが、昭和53年度に宝くじの収益金を財源として開始したもので、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の推進を図る事業等に助成を行うものである。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	北条コミュニティ集会所の修繕等は、当該が管理する85カ所を対象とする。また、消防法で規定された21カ所の集会所について消防機器の保守点検業務等を実施し、地域コミュニティ活動の基盤強化を図る。地区へ譲渡された41ヶ所の「アナログ同報系防災行政無線」(北条地域コミュニティ放送設備)の修繕があった場合は、10万円を限度に1/2を補助する。 コミュニティ助成は、地域コミュニティ団体を対象に一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成の要望の取りまとめや周知を実施する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	北条コミュニティ集会所の修繕について、工事請負費等の寄付を依頼する。			
始期・終期(年度)	平成	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動費	R3 予算措置時期	当初	6月補正
				R2年度			R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				14,756			31,391			3,547	
決算額(B)(単位:千円)				14,821			30,555				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0			0	
	県支出金			0			0			0	
	市債			0			0			0	
	その他			11,208			2,412			7	
	一般財源			3,613			28,143			3,540	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				コミュニティ助成事業補助金 25,541千円 北条コミュニティ集会所の修繕費 4,561千円 委託料 402千円			北条コミュニティ集会所の修繕費 3,300千円 委託料 138千円 北条地域コミュニティ放送設備補助金 100千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による減あり							
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			-65			836	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	北条コミュニティ集会所の修繕 北条コミュニティ集会所の消防設備機器点検 コミュニティ助成事業による地域団体支援					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	特に無し		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	より多くの住民ニーズに対応することができ、地域コミュニティ活動の支援に貢献することができた。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	北条コミュニティ集会所の老朽化により、今後も修繕要望の増加が懸念される。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	必要性の高いものから計画的に修繕に取り組み、施設の長寿命化を図る。	
R4年度の目標	従来の事業を継続して実施することで、住民の自治意識の向上を図り、更なる地域コミュニティの活性化を目標とする。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	北条コミュニティ集会所の修繕及び消防設備機器の点検 北条地域コミュニティ放送設備修繕費補助 一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成の要望取りまとめ及び広報活動	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	地域団体へのコミュニティ助成事業の周知	回	目標値	—	1	1	1	1	目標値	1	
			実績値	—	—	1	1	1	達成年度	R4年度	
		%	達成度	—	100	100					
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由	地域コミュニティ活動の備品整理のため積極的な助成事業の活用を促す。								
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
成果指標 (3つまで設定可)	集会所の修繕申請に対する対応	%	目標値	100	100	100	100	100	目標値	100	
			実績値	100	100	100	100	100	達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	100	100	100	100			
		指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)			最終目標値の設定の考え方		施設維持のため、老朽化等による修繕の要望に全て対応することを目標とした。			
		本指標の設定理由	施設の修繕要望に対する対応状況を指標とした。								
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	町内会連合会等の定例会で周知し、助成事業の活用を促すことができた。									
	成果指標	修繕要望のあった複数のコミュニティ集会所について、工事を工夫し予算を有効に配分することができた。今後も集会所の老朽化に対応できるよう予算の確保に努める。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	家串 正治	課等長名	田中 健太郎	リダー名	副主幹	久保 京介	担当者名	主査	高須賀 薫	主事	中山 洋平
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主事	中山 洋平	主事	川部 亜莉紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61121	NPOサポートセンター運営管理事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託		
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	市民参画を推進する					重点プロジェクト	-				
施策	市民主体のまちづくり					主な取り組み	-				
主な取り組み	市民協働の推進				市長公約						
取り組みの柱	NPOなどに対して、自立のための財政的支援の拡充や寄附文化の定着などに取り組むとともに、市民活動に携わっていない市民などにも、まつやまNPOサポートセンターの認知度を向上させることにより、NPO活動を推進するほか、ボランティアセンターなどと連携しながら、様々な支援を行います。										
総合戦略	基本目標	-				取組み	-				
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等		松山市市民活動推進条例,まつやまNPOサポートセンター事業実施要綱									
事業の目的(どのような状態にするか)	市民活動の拠点として、人材育成・情報収集提供等の事業を展開し、NPO等の活動を支援する。										
背景(どのような経緯で開始したか)	平成10年12月に「特定非営利活動促進法」が施行されたことにより、平成13年度に松山NPOサポート委員会を設置し、平成14年7月にまつやまNPOサポートセンターを開設した。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	まつやまNPOサポートセンターが対象 実態ニーズ調査、相談・団体個別支援、講座の開催・企画、情報発信(メルマガ等)、市民活動交流などを実施している。 委託先名:特定非営利活動法人 アクティブボランティアニター										
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)	平成	14	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動費	R3 予算措置時期		
									当初		
				R2年度				R3年度			
								R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				17,857		18,081		18,233			
決算額(B)(単位:千円)				17,866		18,044		0			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金		0		0		0				
	県支出金		0		0		0				
	市債		0		0		0				
	その他		0		0		0				
	一般財源		17,866		18,044		18,233				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				NPOサポートセンター運営・事業委託料17,601千円 役員費 183千円 使用料及び賃借料 156千円		NPOサポートセンター運営・事業委託料17,727千円 役員費 214千円 使用料及び賃借料 156千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		-9		37					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	交流イベントの開催(交流促進業務) 広報活動(情報発信)、よろず相談対応(相談業務) 講座開催(人材育成業務) 個別マッチング、ひとものプラットフォーム(協働促進業務)											
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		NPOサポートセンターが主体となって実施する講座や情報発信は積極的に行えたものの、新型コロナウイルスの影響が生じる来場者数や相談件数は伸び悩みが見られた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		コムズの休館や外出の自粛等に影響がないものは目標を上回っており、事業の実施が市民主体のまちづくりに寄与していると考えられるため							
事業の公共性	必要性		2		1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性		2		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特になし			
R4年度の目標	市民活動の拠点として、NPO活動等に関する講座開催(15回/年)や、情報収集及び情報提供等の事業を展開しNPOの活動を支援する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				NPOの運営や人材育成に関する講座を開催するほか、市民や企業にNPO活動の情報を提供する。また、交流イベントの開催や様々な相談に応じることでNPO団体の支援を継続する。			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	講座の実施回数	回	目標値	15	15	15	15	15	目標値	15	
			実績値	14	22	19		達成年度	R4年度		
		%	達成度	93	147	127					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	定期的に開催できる講座数として設定				
	本指標の設定理由	NPOの運営や人材育成のための講座を開催し、NPO団体の組織強化を図ることで市民活動の活性化を促進させる。									
			回	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			回	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	来場者数	人	目標値	4,500	4,600	4,600	4,600		目標値	4,600	
			実績値	3,365	1,874	1,598		達成年度	R4年度		
		%	達成度	75	41	35					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	外出を自粛する要因があるものの、センターの有効な利用のため、当面は現状の維持を目指す。				
	本指標の設定理由	NPOサポートセンターが活用されている指標になるため									
	ホームページアクセス数	回	目標値	45,000	45,000	46,000	46,000		目標値	46,000	
			実績値	50,991	54,457	72,564		達成年度	R4年度		
		%	達成度	113	121	158					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	平成27年のホームページリニューアルや情報発信の工夫によるアクセス数の増加を見込んだ。				
	本指標の設定理由	NPOサポートセンターの事業等への興味を図る指標になると考えられるため									
	相談件数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500		目標値	1,500	
			実績値	1,395	991	1,045		達成年度	R4年度		
%		達成度	93	66	70						
指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	相談に対応している時間や人員などが限られるため、当面は件数と質の現状維持を目指す。					
本指標の設定理由	NPOサポートセンターが活用されている指標になるため										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	目標以上の講座を積極的に開催し、市民活動の促進に寄与することができた。									
	成果指標	感染症予防による休館等が影響しないところは目標を上回ることができているため、次年度以降も現在の取り組みを維持していく。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	家串 正治	課等長名	田中 健太郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	高須賀 薫	主事	中山 洋平
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	中山 洋平	主事	川部 亜莉紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61121	市民活動推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	223	個別プログラム	笑顔を育むプログラム
政策	市民参画を推進する				重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト
施策	市民主体のまちづくり		市長公約		主な取り組み	まちづくりに携わる団体等への支援
主な取り組み	市民協働の推進					
取り組みの柱	NPOなどに対して、自立のための財政的支援の拡充や寄附文化の定着などに取り組むとともに、市民活動に携わっていない市民などにも、まつやまNPOサポートセンターの認知度を向上させることにより、NPO活動を推進するほか、ボランティアセンターなどと連携しながら、様々な支援を行います。		市長公約			
総合戦略	4612	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			
		政策	⑥誰もが活躍できるふるさとづくりの推進			
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等 松山市市民活動推進条例,松山市NPO登録要綱,松山市市民活動推進補助金交付要綱

事業の目的(どのような状態にするか)	市民一人ひとりが主体的、自立的にまちづくりを進める社会を実現するため、市民活動の推進に関し必要な施策を実施する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成10年度 特定非営利活動促進法(施行) 平成11年度 市民活動モデル調査検討会の設置 平成12年度 松山市NPO検討委員会の設置 平成13年度 松山市NPOサポート委員会の設置 平成14~16年度 NPO成熟促進委員会の設置 平成17年度から 市民活動推進委員会の設置					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市民活動団体 約200団体が対象 市と市民が一体となって市民活動を支援する仕組みとして市民活動推進基金を設置し、市民活動団体に対して事業費の一部を助成している。また、市民活動団体等の表彰や活動報告会の開催等により市民活動に関する啓発を積極的に行うとともに、官民連携により市民の社会貢献に対する意識の高揚を図る。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		
始期・終期(年度)	平成 18	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						12,392		16,397			9,941
決算額(B)(単位:千円)						10,351		11,662			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0			0
			県支出金			0		0			0
			市債			0		0			0
			その他			6,872		8,322			9,500
			一般財源			3,479		3,340			441
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							積立金 6,408千円 負担金補助及び交付金 4,937千円 報酬 125千円			負担金補助及び交付金 9,500千円 報酬 249千円 役務費 200千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							3月補正で6,410千円追加 流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			2,041		4,735			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	NPOなどへの活動支援、協働事業の実施 市民活動団体に対し、事業費の一部を助成(市民活動推進基金)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	市民活動体験研修の受け入れ先を確保し、目標値とした人数を派遣することができた。また、市民活動推進基金への寄付については、前年を上回る依頼の送付により目標とした件数を確保することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市職員の市民活動体験を通じて、市と市民が一体となって活動する仕組みへの理解が向上している。また、市民活動推進基金への寄付により社会貢献活動に対する意識の醸成を図ることができている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標	市民活動団体の事業への補助金を継続し、団体の立ち上がりや成熟促進の支援を継続するほか、寄付者への表彰や市民活動の啓発により、市民の社会貢献に対する意識の高揚を図る。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		市民活動を行う団体への事業補助金の継続 庁内の市民活動体験研修の継続

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	市民活動体験研修受講者	人	目標値	15	15	15	15	15	目標値	15	
			実績値	24	15	19			達成年度	R4年度	
		%	達成度	160	100	127					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		受け入れ可能な団体や人数とのバランスを考慮。			
	本指標の設定理由	市と市民団体の協働を啓発する取り組みとなるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	市民活動推進基金受付件数	件	目標値	120	120	120	120	120	目標値	120	
			実績値	106	122	122			達成年度	R4年度	
		%	達成度	88	102	102					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		寄付の依頼を継続することで、現状の維持を図る。			
	本指標の設定理由	市民の社会貢献活動に対する意識の指標となるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	NPO団体と協力し魅力ある研修内容となるように努めたことで、目標を達成することができた									
	成果指標	寄附を受けている企業や個人に改めて寄附の依頼をしたことや、これまで寄附を受けていない市内の企業に案内を送付したことで、目標を達成することができた									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	家串 正治	課等長名	田中 健太郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	中山 洋平	主事	今西 由季
令和3年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	杉村 幸紀	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	中山 洋平	主事	川部 亜莉紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	表彰制度実施事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約	-			
取り組みの柱	その他					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市市政功労者表彰条例,松山市表彰規則								
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の名声を高め、郷土の誇りとして、社会の希望と活力の高揚に寄与したものを、広く市民へ感動を与えたもの、又は本市の公益等に尽くしその寄与するところが著しいもの及び市民等の模範となる優れたものに対して表彰を行うことで、市民意識の高揚に貢献することを目的としている。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成12年度に「松山市栄誉賞」「かがやき松山大賞」の2表彰制度を新設し、既存の市長表彰を「きらめき松山市民賞」として整理した。平成24年度には「松山市文化スポーツ栄誉賞」表彰を新設した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	「松山市栄誉賞」「松山市文化スポーツ栄誉賞」「かがやき松山大賞」「きらめき松山市民賞」に該当する、松山市にゆかりのある人へ表彰状と副賞等を贈る。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	12	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		社会福祉費		市民活動費	R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目			
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				854		734		665		
決算額(B)(単位:千円)				124		720		665		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			124		720		665		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						報償費 124千円		報償費 688千円 委託料 44千円 需用費 2千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		730		14		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	令和元年度からかがやき松山大賞を年3回程度の表彰式とし、令和3年度は3回実施した。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		年3回程度の合同での表彰式としたことで、様々な分野の被表彰者が互いを刺激し合う場とすることができた。また、合同のスケールメリットを生かして表彰式を発信することができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本市の名声を高める活躍を讃え、広く市民に周知することができた。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し			
R4年度の目標	時機を逸することなく年3回程度の表彰式を実施していく。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		本市の名声を高める活躍を表彰し、広く市民に周知する。			